

第○学年 学級活動（２）（３）指導案例（細案）説明入り

「『指導と評価の一体化』のための学習評価に関する参考資料 特別活動編」を参照し、Ａ案及びＢ案の二つの例を示します。

日 時 令和○年○月○日（○） ○校時
対 象 ○年○組 ○名
指導者 ○○ ○○

- 1 題材 Ａ案「（例）６年生に向けて」 Ｂ案「（例）体験活動を学校生活につなごう」
学級活動（３）Ａ案「ア 現在や将来に希望や目標をもって生きる意欲や態度の形成」
Ｂ案「ア 社会参画意識の醸成や勤労観・職業観の形成」

題材及び学級活動（２）又は（３）の内容を記述する。

2 題材について

（１）児童生徒の実態

児童生徒の学級生活や学級活動における実態などを記述する。

（２）題材選定の理由

題材が設定された背景や教師の指導観などを記述する。

3 評価規準

各学校で定めた評価の観点に基づき設定する。題材ごとに設定するのではなく、内容のまとまりごとに評価できるように設定する。

よりよい生活を築くための 知識・技能	集団や社会の形成者としての 思考・判断・表現	主体的に生活や人間関係を よりよくしようとする態度
例：～理解している。 ～身に付けている。	例：～見いだしている。 ～実践している。	例：～図ろうとしている。 ～取り組もうとしている。

4 指導と評価の計画

事前の指導、事後の指導を含む学習過程を工夫します。その際、日常生活における問題の原因や対処の方法についての話し合いを生かして、自己の課題の解決方法等を「意思決定」し、決めたことに粘り強く、自主的、実践的に取り組めるようにすることが大切です。

過程	時間	児童生徒の活動	指導上の留意点	○目指す児童生徒の姿 【観点】〈評価方法〉
事前の指導	「事前の指導」は、児童生徒の活動（アンケートやノート等の記入）や教師の事前準備等について記述する。			
	○月○日 （ ） 帰りの会	・５年生のこれまでの振り返ったり、６年生へ向けた期待感を想起したりするアンケートに記入する。	・「６年生に向けて」のアンケートを用意し、５年生の生活を振り返った上で、６年生に向けての期待感を想起できるようにする。 ・「キャリア・パスポート」等を活用し、これまでの自分の成長に気付けるようにする。	○アンケートに答えることで、５年生の生活を振り返ったり、６年生に向けての期待感を抱いたりして、学習への見通しをもとうとしている。 【主体的態度】 〈アンケート〉

本 時	○月○日 () 学級活動	・アンケートの結果や先輩からのメッセージを見て、5年生の振り返りと6年生に向けて必要な行動を探る。	・アンケートの結果を基に自身の振り返りができるようにする。 ・6年生からのメッセージを見て、最上級生としての自覚と意欲を高めるようにする。	○なりたい6年生の姿を明確にし、そのために必要なことについて考え、前向きに話し合っている。 ○話し合ったことを生かして、自分が実践することを意思決定している。 【思考・判断・表現】 〈観察・学習カード〉
事後の指導	「事後の指導」は、児童生徒の活動や教師の支援について記述する。			
	○月中	・意思決定しためあてを意識して実践する。	・一人一人のめあてを掲示するなどして、実践への意欲付けとなるようにする。	○意思決定したことを実践している。 【思考・判断・表現】 〈観察〉
	○月○日 ()	・実践について振り返る。 (年度末までの各月末の帰りの会など)	・振り返りを行う機会を設定し、継続した実践になるようにしたり、必要に応じて新たにめあてを立てて取り組んだりできるようにする。	○実践を振り返り、現在及び将来に向けての学校生活や日常生活に生かそうとしている 【主体的態度】 〈学習カード〉
	「目指す児童生徒の姿」には、「内容のまとまりごとの評価規準」に即して、事前の指導・本時・事後の指導の一連の活動について、評価規準を具体的に記述する。その際、事前の指導・本時・事後の指導の中で、全ての評価の観点を適切に設定する。			

5 本時について

A案

(1) 本時のねらい（目指す児童生徒の姿）

「内容のまとまりごとの評価規準」に即して、本時で目指す児童生徒の姿を具体的に示す。各学校で定めた評価の観点に基づき設定する。
自他との関わりの中で、個人の課題を踏まえ、どのような意思決定ができるようにしたいのかなど指導のねらいを端的に書く。

(例) 最高学年になっていくための見通しをもち、そのために必要なことについて話し合い、自分に合っためあてを立てて実践できるようにする。

(2) 本時の展開

段階	児童生徒の活動	指導上の留意点 ※資料等	○目指す児童生徒の姿 【観点】〈評価方法〉
導入○分	児童生徒の活動 児童生徒の活動の流れが分かるよう、具体的に記述する。例えば、問題を把握したり、原因を考えたりする活動や、解決方法の工夫や個別の意思決定の場面等を、学習過程に位置付けて記述する。 指導上の留意点 児童生徒の活動に沿って、指導・支援の意図、指導方法の工夫等について留意すべきことを具体的に記述する。 「～する児童生徒に対しては、～について～することで～できるようにする」等、児童生徒一人一人に応じた手立てを具体的な指導・支援が分かるように記述する。 児童生徒の活動と教師の指導・支援との関わりを対応させて書く。 目指す児童生徒の姿 本時のねらい（目指す児童生徒の姿）と整合した評価規準を具体的に記述する。「十分満足できる活動の状況」について、抽象的な文言ではなく具体的に記述する。また、評価の場面は1、2箇所に絞る。		
つかむ	1 アンケート結果から、6年生になるに当たっての自分たちの思いについて話し合う。	・アンケート結果をもとにして、6年生に向けて期待感を抱いていることに気付けるようにする。 ※アンケート集計表 ・「キャリア・パスポート」をもとに自分たちの成長を想起できるようにする。 ※「キャリア・パスポート」	
	なりたい6年生に向けて、自分が実践することを決めよう。		
さぐる	2 6年生になったら、どんなことをがんばっていききたいのかについて話し合う。 ・委員会活動 ・クラブ活動 ・運動会 ・歴史の学習 ・更に成長したい ・友達を増やす ・1年生のお手伝い	・6年生が活躍していた場面などの写真を活用し、最高学年として自覚と責任をもって行動する場面が増えることに気付けるようにする。 ・6年生からのメッセージ映像を用意し、「6年生としての心構え」や「自分たちが努力してきたこと」、「励ましのメッセージ」などについて語ってもらうことで、5年生が6年生へと成長していくために必要なことに気付くことができるようにする。	
見つける	3 6年生からのメッセージ映像を見る。 4 どんな6年生になりたいか、そのためにどんなことが必要かを話し合う。	・学習カードを用意し、一人一人が考えた上で話し合うことができるようにする。 ※学習カード	○なりたい6年生の姿を明確にし、そのために必要なことについて考え、前向きに話し合っている。
決める	5 これから6年生になるまでに自分が実践することを決め、伝え合う。	・ここまでの話合いで出された意見などを生かして、自分に合っためあてを学習カードに記入するよう伝える。	○話し合ったことを生かして、自分が実践することを意思決定している。 【思考・判断・表現】 〈観察・学習カード〉
終末○分			

B案

(1) 本時のねらい（目指す児童生徒の姿）

「内容のまとめりごとの評価規準」に即して、本時で目指す児童生徒の姿を具体的に示す。
各学校で定めた評価の観点に基づき設定する。
自他との関わりの中で、個人の課題を踏まえ、どのような意思決定ができるようにしたいのかなど指導のねらいを端的に書く。

- (例) ・職場体験活動で学んだことを「キャリア・パスポート」に表現している。
・担任からの助言や友人の声を参考に、職場体験活動の経験を学校生活に生かそうとしている。

(2) 本時の展開

段階	児童生徒の活動	○目指す児童生徒の姿 【観点】〈評価方法〉 ※指導上の留意点
導入 ○分	児童生徒の活動、目指す児童生徒の姿、指導上の留意点の記入についてはA案を参照する。 つかむ 1 職場体験活動を振り返ろう ・職場体験活動のしおりや「キャリア・パスポート」を読み返す。 職場体験活動を学校生活につなげよう。	
展開 ○分	さぐる 2 個人の活動 ・適性検査を基にした職場体験活動のねらいと、実際の職場体験活動の取組は合っていたかを振り返る。 3 グループでの話し合い活動 ・実際の職場体験活動中に学んだこと、職場の方とのやりとりを振り返る。 4 個人の活動 ・職場体験活動の感想をまとめる。 見つける 5 個人の活動 ・職場体験活動で学んだことが、今後の学校生活のどんな場面で生かせるかを考える。 6 グループでの話し合い活動 ・応援シートを使いながら、職場体験活動で学んだことが、今後の学校生活のどんな場面で生かせるかを考える。 決める 7 個人の活動 ・担任のコメントや応援シートを参考に、これからの学校生活で伸ばしたい力を意思決定し、記録する。	※「キャリア・パスポート」を見直す。 ※「キャリア・パスポート」に記入する。 ○職場体験活動で学んだこと整理している。 【思考・判断・表現】 「キャリア・パスポート」 ※担任は机間指導しながら、自己理解、社会マナーやルール、進路決定や将来設計、役割等の視点からコメントする。 ※応援シートを使い、互いのよさやがんばりを相互評価する。 ○担任からの助言や友人の声を参考に、職場体験活動の経験を学校生活に生かそうとしている。 【主体的態度】 〈「キャリア・パスポート」・観察〉 ※「キャリア・パスポート」に記入する。
終末 ○分	8 振り返り ・体験活動と学校生活のつながりと「キャリア・パスポート」を作成することの意義を確認する。	※具体的な場面（学校行事や進路選択）を挙げ、児童生徒がイメージしやすいようにする。

6 板書計画

